

令和2年10月7日朝礼

先週の金曜日は、6年生の皆さんは修学旅行に出かけました。いつもの年にくらべて短い修学旅行になりましたが、いつもの年にくらべて観光客が少なく、天候にも恵まれて、ゆっくりとまわることができたのが今年よかったことだと思います。6年生の皆さんも、秋竹小学校の最上級生として、しっかりとした行動ができていたと思います。1年生から5年生の皆さんも、6年生の皆さんがいない中で、朝の登校をはじめ、いつもの学校生活がしっかりできたと聞いています。6年生の皆さんからは、修学旅行の様子などをぜひたくさん聞いてくださいね。

ついこの間まで暑い日が続いていたように思うのですが、最近はようやく秋らしく、過ごしやすくなりました。4月に皆さんが入学、進級したころは春、暑い季節は夏、そして秋がきて、冬がやってくるという季節の移り変わりを、私たちは当たり前のように感じていますが、世界の中には、季節の変化がほとんどない国もあります。1年中暑い国、寒い国、雨がほとんど降らない国もあります。むしろ、日本のように季節の変化がある国が珍しいくらいだそうです。だから日本では、昔から人々は、季節の移り変わりを楽しんできました。

特に秋は、「〇〇の秋」とよく言われます。日本では、秋にお米が収穫できることから、秋はうれしい季節として捉えられていることが多いです。また、暑さがなくなって、涼しくなることから、過ごしやすい季節です。何にでも打ち込みやすい季節でもあるので、よく「〇〇の秋」と自分のテーマを決めて過ごすことも多いです。

本をたくさん読もうという人は「読書の秋」、運動をがんばろうという人は「スポーツの秋」、歌を歌ったり楽器を演奏したり絵をかいたりするのが好きな人は「芸術の秋」、料理をするのが好きな人や、食べるのが好きな人は「食欲の秋」というものもありますね。秋は特に食べ物がおいしい季節でもあると思います。皆さんは、この「〇〇」に何を入れますか。

今年は、秋と同じように、過ごしやすい季節である春を、学校の臨時休業のため、私たちは十分に体験できませんでした。その分、この秋をしっかり楽しんでほしいと思います。